

# 街コポト スクラップ

みんなのイマをパシャ!!

## イベント

やねだんでアートを楽しむ



5月1日～5日、串良町上小原の柳谷町内会(やねだん)で、「第9回やねだん芸術祭」が開催されました。

1日の開会式では、今年度から始めた「貸し自転車」の披露や「石炭ミニS」の試乗が行われ、多くの来場者でにぎわいました。

また期間中は絵画や工芸作品などの展示や芸術体験ワークショップ、ベリーダンスショーなどが行われました。

## 「リナフェスタ2016」を開催



5月3日、リナシティかのやで、「リナフェスタ2016」が開催されました。

当日は、大隅で作られた食品や雑貨等を販売する「おおすみハナマルシェ」や障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しむ「こつておきの音楽祭」、毎年恒例となっている10mロールケーキのふるまいなどを実施。また、熊本地震への募金や寄せ書きへの呼びかけに、多くの人々が協力していました。

## スポーツ

### 難コースを駆け抜ける



5月8日、輝北うわば公園で「第28回南日本クロスカン トリー大会INきほく」が開催されました。

競技は、ファミリーの部1.2kmから一般8kmまでの8種目を実施し、県内外から632人がエントリー。

雨と濃霧というあいにくのコンディションとなりましたが、参加者は起伏に富んだ九州でも有数の難コースに挑み、健脚を競いました。

## 「図書館まつり」で本に親しむ



5月8日、市立図書館で「第5回図書館まつり」が行われました。これは、本を読む機会が少なくなっている子どもたちに、本に親しんでもらおうと行われたもの。当日は寄贈された本を無料でプレゼン トする「ブックリサイクル」や読み聞かせグループによるお話し会が行われたほか、ピザ作りやエコバッグ作りなどの体験が行われ、大勢の親子連れでにぎわいました。

## 防災

### 「水」災害に備えて



5月19日、高隈地区で水防訓練を実施しました。これは梅雨や台風の出水期を前に、市・消防・警察・町内会などの関係機関が参加し、災害対応の強化と水防意識の啓発を図ろうと行ったもの。大雨で高隈ダムへの流水量が増し、串良川が氾濫したとの想定で現地に対策本部を設置し、参加者は消防団等の誘導に従って、本番さながら真剣な表情で避難していました。

## ボランティア

### 花苗の購入で熊本を支援



5月14日、リナシティかのや周辺で花苗の植え付けが行われました。

これは、熊本地震によって物流がストップし、生産物を出荷できない農家を支援しようとして行われたもの。当日は熊本県宇城市の農家から仕入れた苗約700本を、インターアクトクラブに所属する高校生ら約80人が、リナシティかのや周辺のプランターや花壇に定植しました。

## 観光

### 広域観光推進の新たな取り組み



5月25日、市内のホテルで「大隅広域観光協会準備会(仮称)設立総会」が開催されました。大隅地域4市5町の観光関連事業者や行政関係者等70団体が一堂に会して開催されたこの会議では、組織の名称を「おおすみ観光未来会議」に決定。今後、地域の観光計画の策定や、民間主導の観光地域づくりのための取り組み等を進めていくことを決定しました。

## 災害に備えて関係機関が協議



5月30日、市役所で平成28年度第1回鹿屋市防災会議が開催されました。この会議は、行政・消防・警察・自衛隊・海上保安・電気・通信・医療・看護・建設・町内会等の各分野の関係機関で構成。会では昨年度の災害発生状況の報告や鹿屋市地域防災計画の見直しについて協議が行われ、各機関が連携して防災にあたることを改めて確認しました。

## ウミガメの安全な産卵を願って



5月28日、浜田海岸で清掃活動が行われました。

これは、ウミガメが安全に上陸・産卵できるように清掃活動を行い、環境問題を考えるきっかけにしようとして行われたもの。当日は小雨まじりの天候の中、海上自衛隊鹿屋航空基地海曹会や地域の町内会、スポーツ少年団等から約200人が参加し、空き缶やペットボトルなど約460kgのゴミを集めました。

## 新たな「鹿屋市観光協会」が誕生



5月31日、市内のホテルで「(仮称)鹿屋市観光協会設立総会」が開催されました。

会では、「鹿屋市観光協会」、「鹿屋市物産協会」、「かのやツーリズム推進協議会」の統合が承認され、新たに「鹿屋市観光協会」として一体的な事業展開を行うことが決定されました。

今後、民間主体による観光客の受け入れや物産の売り込みなどの推進が期待されます。